

# 様々な癖に ”拡張プレイ”は内包されている。

2023年 1月 4日

在籍No.115 國茂嶺(一期生)



皆様、拡張プレイと言われると何を思い浮かべますでしょうか。

指を入れて拡大する？ぽっかりと開いて閉じない様子？

はい、それも拡張プレイと呼べるでしょう。

それ”も”というのはどういうことかと言いますと、つまり「性器もしくは排泄器官の出入口が、普段より広がっていること」であればほとんどが拡張プレイと呼んで差支えが無いからでございませう。通常の人体構造を超える事をする、無理やり挿入したり日常的に訓練したり、人体の神秘などとも言われる行為を指すこともあります。

厳密に言えば、平均的ペニスもしくは便より太い・大きいものを入れたり、それ以上が入りそうな穴に拡げて見せたりするのが拡張プレイです。具体例を挙げていきましょう。

フィストファック	→腕や拳といった大きなもので出入口を拡張しています。
ディルド・パイプ	→直径サイズが大きいものであれば出入口を拡張しています。
プラグ・バルーン	→内部臓器、もしくは排泄時に拡張しています。
浣腸・ゼリー浣腸	→注入された量、粘度によって臓器や出入口を拡張しています。
(上記以外の) 異物挿入	→大きいものや長いものであれば拡張しています。
獣姦・異種姦	→大型動物や想像生物の大きなペニスを挿入時に拡張しています。
触手プレイ	→太さ・長さで体中のあちこちに侵入し拡張しています。
ロリ (体格差姦)	→大人のペニスで小さい体の器官を拡張しています。
ふたなり	→ファンタジーサイズのペニスをねじ込むため拡張しています。
機械姦	→人力を無視した無慈悲で強力な挿入動作で拡張しています。
ぽっかり穴	→十分に拡張されました。

等等、太い・大きいものが入れればそれは何でも拡張になり、私たち拡張プレイヤーの糧となるのでございます。ここまで読んでくださったあなた様は、拡張についての理解が拓がりましたね。

ただ、具体例の上3つ以外は拡張と言うよりもそのジャンルとしての人気が強くなってしまいがちですので、その3つの上位性癖である「ダブルフィスト・極太ディルド・巨大プラグ」が拡張プレイヤーの専門分野であり大好物でもあります。皆様が拡張プレイを意識して書く・描く際には、難しいかもしれませんがこの違いを感じ取ってくださると幸いです。